

認定NPO法人e-Education

年次活動報告書



静岡県掛川市で開催したe-Education15周年感謝祭Still Crazy, Still Climbingの様子



ANNUAL REPORT 2025

2025.04 - 2026.03



Mission

最高の教育を世界の果てまで
Best Education to edge of the World

Vision

人生に誇りを、社会には想いを
A Life with Dignity, a Society with Compassion

代表メッセージ

"Still Crazy, Still Climbing" (未踏に、熱狂しよう)

2026年1月31日、e-Education15周年感謝祭《Still Crazy, Still Climbing》を静岡県掛川市で開催しました。

静岡県、全国、そして世界各地から総勢100名を超える方が掛川へ。e-Educationの今とこれからを体感いただき、最高であり最幸の時間でした。

振り返ると、創業からの10年間は「なぜ」「どうやって」「なにを」するのかずっと考え続けてきましたが、この5年間は「どこで」「誰と」いるのかを深く考えた時間だった気がします。

「ヒトを向くな、コトを向け」という恩師の言葉が何度も頭をよぎりました。ヒトを向いてばかりいるから事業が伸びないのではないか、そう悩む時期も長かったです。ただ、人に向き合ったこの5年、不幸だと感じたことは一度もありません。

そして2年前に《ファンベース》という言葉に出会い、ヒトの数だけ熱が増えるという、とてもシンプルな理論を知りました。ヒトとヒトが出会うことで、熱と熱が積み重なって(Climbling)、唯一無二の熱狂(Crazy)になる。これを体現したイベントが、15周年感謝祭でした。

イベント最後のプレゼンは、大好きな登壇者みなさん、e-Educationの仲間たち、これまで同じ夢と一緒に追いかけてくれた応援者・協力者皆さん、お一人お一人から樗やバトンもらったような気持ちになりました。

当日ワクワクする未来と一緒に描けたことが心から幸せであり、その時抱いた気持ちに、今も世界中の仲間たちと挑戦を続けています。

【笑われるくらい高大な夢も、みんなで登れば一生物の笑い話になる】

そう信じて、e-EducationはこれからもStill Crazy, Still Climbingな挑戦を続けていきますので、引き続きよろしくお願いたします。

認定NPO法人e-Education
代表 三輪 開人



🇧🇩 **バングラデシュ**

教育の転換点にあるバングラデシュ。農村部の教育支援を強化

2024年の政変を経て、暫定政権下にあった2025年度はバングラデシュ教育界の大きな転換期となりました。中等教育修了試験（SSC）や高等中等教育修了試験（HSC）の採点基準が厳格化され、多くの生徒が成績低迷に苦しむ事態となったのです。特に理科教師が不足する農村部では、学習到達度が3割に留まる実態が私たちの調査で浮き彫りになりました。教育格差が広がる今こそ、デジタル教材で「誰もが質の高い教育を受けられる環境」を届ける重要性が一層高まっています。2025年度からは、農村部の高校生への大学受験支援と並行し、バングラデシュでもJICA草の根技術協力事業を開始しました。この事業では、農村部の中学生を対象に、数学・理科のデジタル教材やシステムを作成・提供、先生に対してはICTツールを活用した授業の実施方法などの研修を行います。現在は、教材作成や先生へのワークショップを実施しながら、教室へのデジタル教材の導入を進めています。

また、大学受験支援では引き続き100名の生徒への奨学金を提供。彼らに伴走するオンライン家庭教師である「ライフコーチ」を雇用し、バングラデシュ全国の受験生の挑戦をサポートし続けています。

本年度は281人の受験生に支援を届け、20名の大学生に就業機会を提供しました。授業や体制の強化により、ダッカ大学には32名が合格し、本年度も高い合格率を維持することができました。暫定政権での採点基準の変更で、多くの生徒が影響を受けましたが、16年連続でダッカ大学と難関国立大学に合格者を輩出することができました。



静岡県掛川市でe-Education15周年感謝祭Still Crazy, Still Climbingを開催しました

2026年1月31日、静岡県掛川市のSK駅前ホールにて、e-Education15周年感謝祭Still Crazy, Still Climbingを開催しました。当日はサブセッションを含む8つのセッションを朝から実施。静岡県、全国、そして世界から総勢120名を超える方に掛川にお越しいただき、e-Educationの今とこれからを体感いただきました。当日お越しいただいた方からは下記のような感想（一部抜粋）をいただきました。

- 世界と日本、両方に目を向けたe-Educationの活動を凝縮して体験することができてとても良かったです！
- 私も自分が行っている活動を頑張ろう！と思える会で、感動しました。
- 支援しているスタッフの皆さんも、また支援を受けている海外ルーツの子どもたちも、どちらも楽しんでいるのがとても印象的だった。
- 終わった後に多幸感というか、この場にいれてよかったと思いました。



私たちは、これからもひとりでは実現できないことをみんなで共に創っていきます。

“Still Crazy, Still Climbing.”

笑われるような夢も、みんなで笑い話に変えてしまおうなCrazyさを忘れず、「最高の教育を世界の果てまで」に挑戦し続けていきますので、これからも一緒に歩いていただけたら嬉しいです。改めて、当日お越しいただいた皆さま、ありがとうございました！



フィリピン

大学受験支援と並行して、奨学金試験対策講座も開始



フィリピンでは地方を中心に、自然災害によるインフラの不安定さや貧困が深刻な教育課題となっています。特にミンダナオ島などでは約20%の子どもが働きながら通学している地域もあり、学校を中退せざるを得ない生徒も多い現状です。

また、難関大学を目指す意欲ある高校生にとっても、受験対策費用や進学後の生活費が大きな障壁となり、進学を諦めざるを得ないケースが少なくありません。私たちはこうした貧困の悪循環を断ち切るため、無償で質の高い授業を提供し、子どもたちが自信を持って自ら未来を切り拓けるよう活動を続けています。

特に注力しているのが、BIG4と呼ばれるフィリピンのトップ大学合格を目指す大学受験支援です。プロ教師による集団授業に加え、アルバイトができない優秀な大学生と、学習支援を必要とする高校生をマッチングし個別指導も合わせて提供しています。

2025年度からは新たな取り組みとして、進学後の生活費などの支援が得られる国の奨学金試験の対策も開始しました。また、花王グループの化粧品ブランド「est（エスト）」様と協働で2023年に設立した「探求のあり基金」では、経済的な理由で進学を諦めてしまう生徒に対し、返済不要の奨学金を提供しています。

25年度は127名の生徒に授業を提供し、国内最難関大学への受験に挑戦しており、試験結果は2026年5月から6月にかけて発表予定です。今年から開始した奨学金試験に向けた対策講座は70名以上から応募があり、経済的に困っている多くの学生から大きな関心を寄せて頂きました。



ミャンマー

海外大学院進学支援プログラムを継続、日本の大学進学者が誕生

ミャンマーでは、クーデター以降、国内の教育制度が二分化されました。一昨年・昨年に引き続き、政府主導のカリキュラムと非政府主導のカリキュラムが併存し、それぞれに対応した高校卒業試験が存在するという、特殊かつ複雑な状況が3年近く続いています。

そのような中で、e-Educationは独自の調査に基づき、「若者ひとりひとりの選択肢を増やす」という理念のもと、国内外に暮らすミャンマーの若者を対象に、オンラインで質の高い教育を提供しています。

特に注力してきたのが、海外大学院進学を目指す若者たちに対する教育支援であり、昨年に続き、海外大学・大学院の受験合格者を輩出し、そのうち一人は日本の大学進学が決まりました。

2026年度は、大学進学を果たした卒業生たちの力も借りながら、より包括的な教育支援プログラムづくりを進めていきます。

※現地パートナーと生徒の安全確保のため、現地状況など詳細の記載は控えさせていただきますことご容赦ください。



ネパール

23名の生徒全員が数学試験に合格！教員向けのICT活用研修も高い満足度

地方部の学校においては、長年にわたり理数系教科の学力水準の低さが深刻な課題として認識されてきました。これは、中等教育修了試験（SEE）の成績に悪影響を及ぼしています。さらに、2025年には国内で政変が発生し、政治的な先行きが極めて不透明な状況となりました。

このような状況下においても、「学びを止めない」という意志のもと、SEE対策の強化とICTを活用した指導力・学力向上に焦点を当てて推進されました。事業実施の基盤となったのは、これまでのJICA草の根事業で築いた地方行政との強固な連携です。具体的には、ICTファシリテーターによる学校巡回、ニーズに基づくICT活用研修、そして対面とオンラインを組み合わせたSEE対策を実施しました。

本年度のSEE試験では、e-Educationが支援した23名の生徒全員が数学に合格しました。全科目の合格は叶わなかったものの、課題となった数学においてこのような結果が出たのは大きな前進です。また、2026年1月に実施した3日間に渡るICT活用研修では、前年度の研修を修了したネパール人教員4名が指導者として登壇し、29名の中学校教員が参加しました。研修後のアンケートでは、5段階評価中4.09ポイントという非常に高い満足度が示されました。この高評価は、教員自身が学び、その学びを同僚に伝え、指導するという「教員同士の学び合い」が効果的であるということを示唆しています。この教員主導のサイクルは、今後他の地域へと展開していく際のモデル事例として、大きな期待が寄せられています。





~海外ルーツの子ども達（越境児童）の支援を継続~

日本国内の公立小中高校などで日本語指導を必要とする児童生徒が、2025年度は84,759人となり、過去最多を更新したことが文部科学省の調査で判明しました。前回2023年度の調査から1.5万人増えており、約10年で倍増している計算になります。

これに加えて、私たちは独自調査を通じて、日本語教育のほかに教科(特に算数)学習支援のニーズが高いことを把握し、この課題を解決するために、母語(継承語)によるオンライン学習支援の活動を昨年に続き実施しました。



モデル自治体である静岡県掛川市の教育関係者と議論を重ねながら、1年間で約50名の海外ルーツの小学生（フィリピン・ブラジルルーツの子どもたち）に対して、450時間の個別指導を実施し、生徒の学力向上に伴走しました。この実証事業の成果が高く評価され、昨年制定された「かけがわ未来共創ビジョン2035（第3次掛川市総合計画）」では本事業に関する言及がありました。

掛川から全国へ。どんな自治体でも展開可能なモデルづくりを、今後も進めています。

海外ルーツの若者に、自分の可能性が広がるような、人生が変わるきっかけとなる1日を

昨年度、e-Educationでは「海外ルーツの若者に、自分の可能性が広がるような、人生が変わるきっかけとなる1日を届けたい」という想いから、#meet5000フェスとe-Education15周年イベントに、海外にルーツを持つ若者たちをご招待しました。今回は、両方のイベントに参加してくれたAさんに、お話を伺いました。

これから18歳になる中で、「このままずっと地元で働くのかな」とか、「もっと新しいことを経験してみたいな」と、将来について考えるようになりました。いろんな人と話してみたいと思って、#meet5000フェスに参加しました。

当日は、いろんなブースを回ったんですが、特に印象に残っているのが「ダイバーシティ」のブースです。「今困ってることある？」と聞かれて、自分の気持ちを全部話したら、「あなたならできるよ」ってたくさん励ましてもらえて。すごく救われた気持ちになりました。私は、新しいことに挑戦するのが怖くて、「失敗したらどうしよう」ってずっと考えてしまうタイプなんです。でも、イベントではたくさんの大人の方に「失敗しても、諦めなければ大丈夫」と声をかけてもらって、すごくホッとしました。

15周年イベントでは、工場の社長さんのお話が特に印象に残っています。親が働いていることもあって、工場の仕事に対してただ「大変そう」という印象を持っていたんですが、「働く人を明るくしよう」と本気で頑張っている社長さんがいることを知って、見え方が変わりました。今は、前より少し自信を持てるようになった気がします。これから資格も取って、新しい仕事や挑戦にも踏み出していきたいです。



これまでにご支援・協働いただいている法人さま

※一部掲載



会計報告

e-Educationの活動は皆さまからのご寄付をはじめ助成金や事業収益によって実施できています。2025年度も温かいご支援をお寄せいただき、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げるとともに、1年間の収支についてご報告します。

本書では、決算の主な数字を集計したものです。国別や事業別など詳しい損益はホームページの決算資料 (<https://eedu.jp/about/outline/index.html>) で公開しています。

※e-Educationでは外部の会計監査などを受け、厳格な財務管理を実施しています。

| 経常収益 | |
|--------|-------------|
| 受取会費 | 51,000円 |
| 受取寄付金 | 33,598,515円 |
| 受取助成金等 | 13,160,000円 |
| 事業収益 | 37,472,852円 |
| その他の収益 | 447,607円 |
| 合計 | 84,729,974円 |

| 経常費用 | |
|-------|-------------|
| 事業費 | 56,895,217円 |
| 人件費 | 19,137,761円 |
| その他経費 | 37,757,456円 |
| 管理費 | 13,642,274円 |
| 人件費 | 4,487,486円 |
| その他経費 | 9,154,788円 |
| 合計 | 70,537,491円 |

税引前当期正味財産増減額
14,192,483円

法人税、住民税及び事業税
70,000円

当期正味財産増減額
14,122,483円

前期繰越正味財産額
-59,360,589円

次期繰越正味財産額
-45,238,106円

ご支援の方法

マンスリーサポーターになる

01

毎月3,000円のご寄付があれば、映像授業とオンライン家庭教師による教育支援を届けられます。学習環境に恵まれない子どもたちを応援する仲間になってください。



<https://sforce.co/4fSVNcD>

今回のみご寄付をする

02

ご都合の良い時に、ご自由な金額でご寄付いただけます。法人としてのご寄付もこちらからお申し込みいただけます。



<https://sforce.co/4dz14Vw>

e-Educationへのご寄付は寄付控除の対象となります

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-2-8 赤塚ビル 2階

E-Mail : info@eedu.jp HP : <https://eedu.jp>